2つ目の関心

移住者が地域に溶け込めるような「社会的な仕掛け」

「美の条例」制定から30年

神奈川県唯一の「過疎地域」にもかかわらず

移住者数が急増

2019年度には町の転入者が転出者を上回った

私たちが注目したのは…

移住者が地域活動やまちづくりの 担い手になっている

過疎地域の移住政策の課題

いかに移住者を 増やすか 移住者にどのように地域に 馴染んでもらい、 コミュニティの成員として いかに人間関係を つくってもらうのか 期待されるような地域の担い手になるケースは想像以上に少ない…

なぜ真鶴では 移住者がまちづくりの担い手に なっているのか?

例えば…

「真鶴ピザ食堂KENNY」 向井研介さんと日香さん夫妻



真鶴駅前の一等地で お店を営業 商工会の青年部の 副部長としても活躍



例えば…

「一般社団法人 真鶴未来塾」 玉田麻里さん



「コミュニティ真鶴」内の コワーキングスペースの管理・運営 空き家バンクの窓口

移住者の心得



來住友美さん (真鶴出版)

まちの人たちの気持ちを波立てないで、 まちの人たちが作ってくれた流れに乗ること

> 移住者 = 転校生 まずは地元の方に見極めてもらう必要がある



自然といろんな誘いがきたり、 人の縁がつないでくれる

「流れ」を生みだす源流=「社会的な仕掛け」

真鶴固有の2つの仕掛け



移住者が地域に溶け込む「社会的な仕掛け」とはどのようなものか?

仕掛け①

移住チーム

(メンバー:川俣・西澤・大屋・越智)

「人間関係」紹介のまち歩き

移住希望者に向けたユニークな取り組み

「まち歩き」

に注目!

「まち歩き」とは

真鶴出版の川口瞬さん・來住友美さん夫妻が考案 対象は宿泊客

移住体験施設「くらしかる真鶴」と

「真鶴出版」両方で実施(共に真鶴出版が運営)



写真:藤巻徹也氏

移住希望者は夫妻の案内でまちを歩く

一般的にまち歩きと言えば…





観光名所を巡るもの

真鶴の場合…

移住希望者の関心に合わせて歩くコースを変える

例えば…

建築を巡る



空き家を 探そうの旅



全てのコースに共通して

真鶴での暮らしを体感

生活商店街をめぐれば…







店主に移住希望者を紹介



川口瞬さん (真鶴出版)

移住希望者にまちの人を紹介するのではなくまちの人に移住希望者を紹介する

観光案内所ならぬ「関係案内所」 草柳商店



居合わせた地元住民と移住希望者が おしゃべりし、互いを知り合う 機会をつくる

移住希望者に向けた「まち歩き」

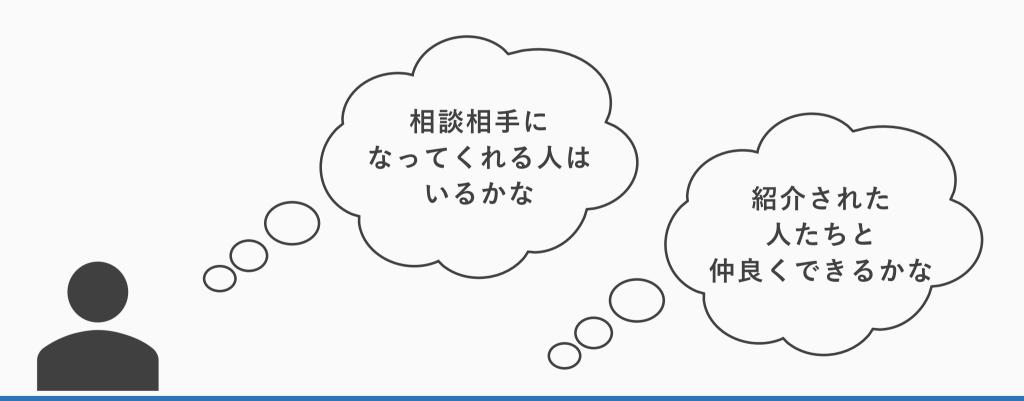
移住希望者を

まちの人に紹介するためのもの



だからこそ…

移住後の生活を具体的にイメージできる



移住後、しばらく「流れ」に身を任せていると…

お誘いがくる

- 町内会や消防団への 入会
- 地元住民による 移住者の交流会 「辰巳会」
- 「草柳商店」での 角打ち …など

さらなるお誘い 例えば 「草柳商店」の角打ち 祭りが担い手 不足だから 参加しない?

その結果…

既存の社会組織 (町内会・消防団・商工会など) にひとつは入会する



流れに身を任せる

「関係性の波」が迫ってくる

この波の重なりが

つながりの豊かさにつながっている!

移住者が地域に溶け込む社会的な仕掛けとはどのようなものか?

「まち歩き」に 「人間関係」を紹介するしくみを 入れ込んでいる

という仕掛け